

特集

# 雲をつかむ

空を見上げるとそこにある「雲」。雲とは、大気中に固まって浮かぶ水滴または水の粒（水晶）のこと。空気が高く上がると温度が下がり、空気に含むことができなくなった水蒸気が集まって雲になる。

その雲は雨をもたらす物理的な存在というだけではない。なぜかしら人々の心に響く存在でもある。雲は人の夢や希望などあいまいなものにとえられることが多く、また雲と聞いて思い浮かべる風景は一樣ではない。雲に対する印象や思いは人それぞれではないだろうか。

いつもそこにある身近な存在である雲。その実体はどのくらい知られているだろうか。そして、刻一刻と姿を変え、二度と同じ形にならない雲は、人間にとってどのような存在なのか。

人の暮らしとの関係や、心理的・文化的な側面にも光をあてながら、雲の魅力に迫る。

## 目次

### 巻頭エッセイ

- ひとしずく  
2 **自分が飲んでいる水の源**  
池澤夏樹

### 特集 雲をつかむ

- 入門  
6 **いつでも、どこでも、見上げれば雲はそこにある**  
村井昭夫

- 知恵  
14 **銘茶を支える、雲による天気読み**  
静岡市葵区

- 最新研究  
18 **天気予報の今と台風研究の最前線**  
筆保弘徳

- 文化  
22 **中世の絵巻に見る「雲」の役割**  
五味文彦

- 生活  
24 **「雲の監視」でフライトはより安全に**  
ANA

- 表現  
28 **「ただそこにあること」が雲の魅力**  
黒井 健

- 人  
32 **雷雲を追いかける男**  
青木 豊

- 心  
36 **今、この時代だからこそ、雲を哲学する価値がある**  
小林康夫

- 文化をつくる  
39 **たまには楽しみたい「雲 時間」**  
編集部

### 連載

- 水の文化書誌 47  
40 **セーヌ川は流れる**  
古賀邦雄

- 食の風土記 8  
42 **塩の節約と島の自然が生んだ「くさや」**  
東京都新島村

- 魅力づくりの教え 8  
45 **流れを創る事業者たち——松山市中心市街地と道後温泉**  
愛媛県松山市  
中庭光彦

- 50 **センター活動報告**

- 51 **編集後記／ご案内**  
(敬称略)